

若い世代の移住・定住に関するアンケート 2025 結果報告書

1 アンケート概要

(1) 目的

本市の若い世代（概ね 49 歳以下）の移住・定住の促進に関する取組に対する市民の満足度や意見を把握するため。

(2) 対象

e モニター 340 名

(3) 回収数

161 件（回収率 47.3%）

(4) 調査時期

令和 7 年 5 月 12 日（月）～令和 7 年 5 月 26 日（月）

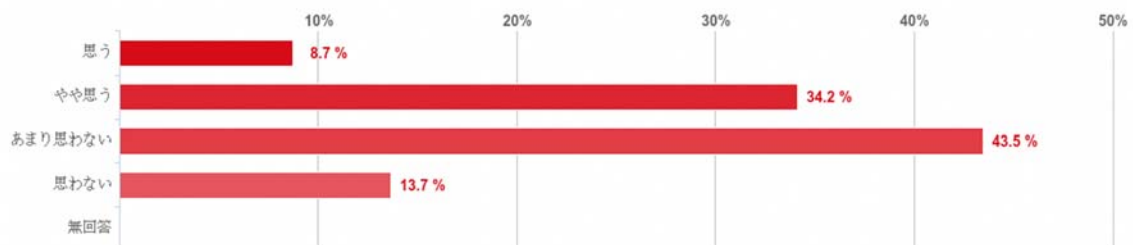
※その他意見の類似意見は代表的な意見にまとめています。

※意見に関しては基本的に原文の状態で載せております。

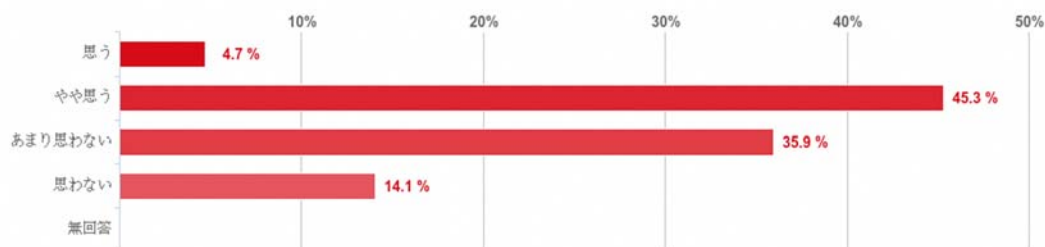
2 アンケート

Q1 あなたは、白井市を全体的にみたとき、若い世代が暮らしやすいまちであると思いますか。

【全体】 n=161



【若い世代回答】 n=64

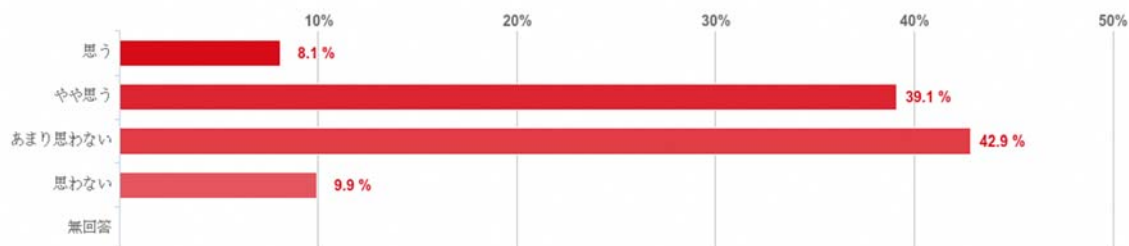


若い世代の方に白井市に移住・定住していただくためには、住環境や働く場、子育て環境の充実が必要です。

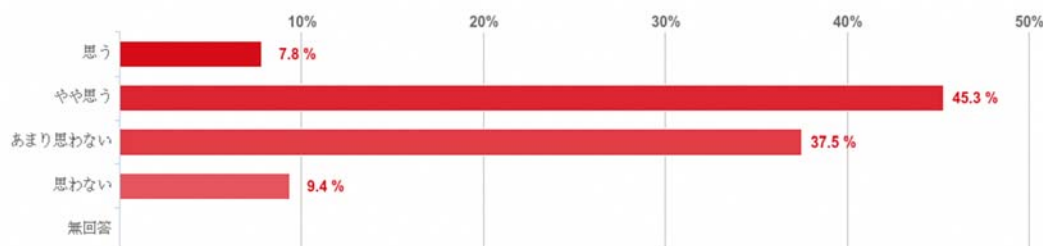
そこで、はじめに、白井市の住環境について、おたずねします。

Q2 あなたは、白井市に若い世代が快適に暮らせる住環境が整っていると思いますか。

【全体】 n=161

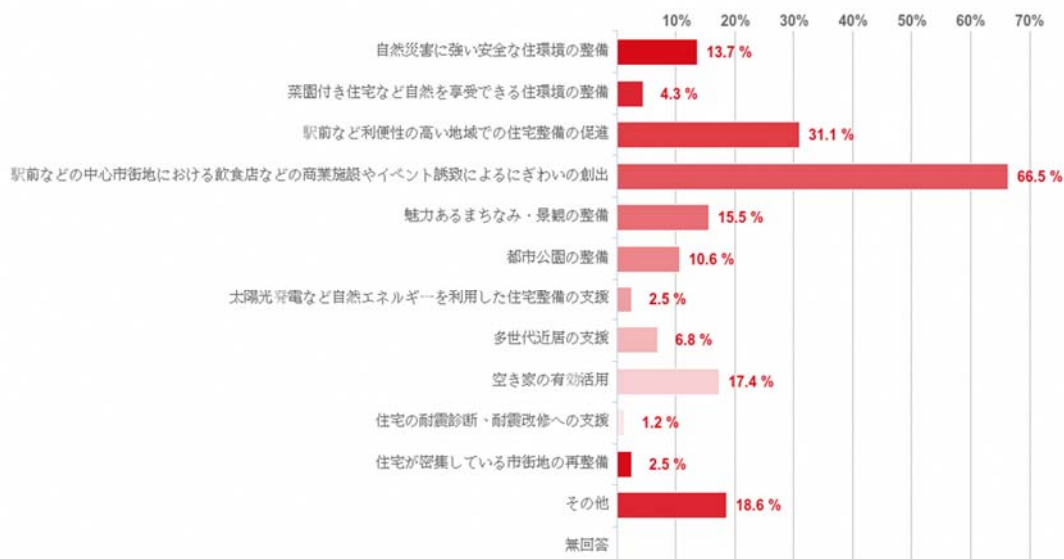


【若い世代回答】 n=64

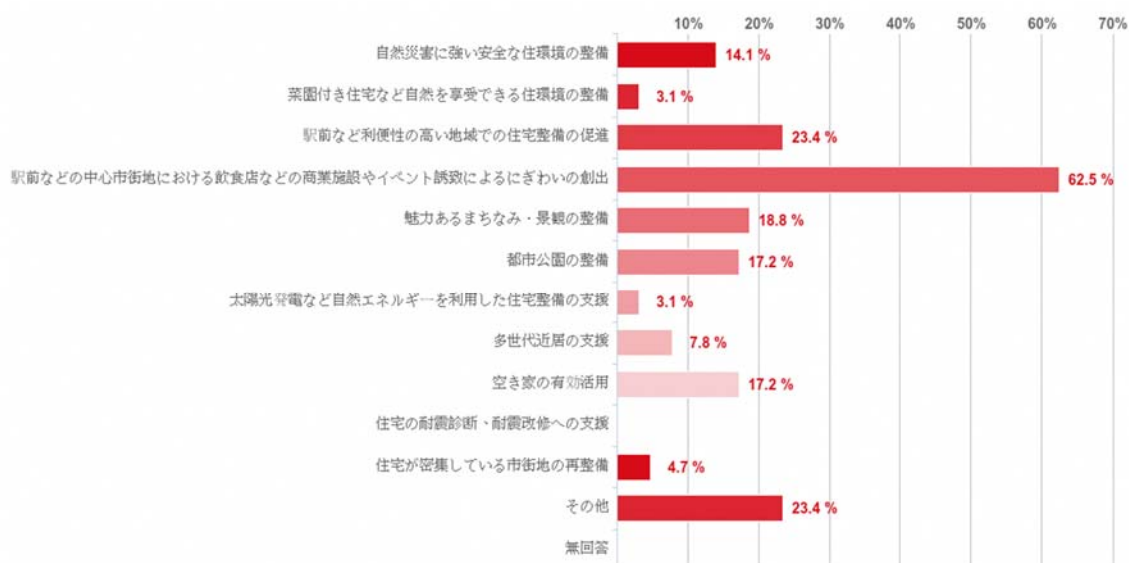


Q3 あなたは、白井市が若い世代にとって快適に暮らせる住環境を整えるために、今後どのような取組が重要と考えますか。次の中から2つまで選択してください。

【全体】 n=161



【若い世代回答】 n=64



【その他】 30 件

- ・公共交通機関の充実。
- ・医療機関の充実（場所や新規）。
- ・子育て世代への支援強化。
- ・歩道の整備。
- ・婦人・産院系医療機関の充実と紹介アナウンス。
- ・交通の便。
- ・交通費の抑制。
- ・主婦層を雇用できる企業の誘致。
- ・独身者、夫婦だけの世帯が借りやすい住宅の提供。
- ・若い世代でも広い家を建てやすい駅から離れたエリアからの公共交通機関での駅までの移動のしやすさ(送迎負担減)。
- ・子供が安心して自由に遊べる公園の整備。
- ・車以外での移動手段の充実、内科・歯科以外の病院の通いやすさ。
- ・勤務地までの通勤時間が長いかつ交通費が高い。
- ・北総線の特急停車や本数の増便。
- ・北総線の本数を増やす働きかけ。
- ・道路の整備。
- ・福祉の充実。
- ・安全性の高い街。
- ・移住支援。

・幼稚園小学校中学校の通学が不便なので、徒歩圏内の住宅地の開発や、駅までのコミュニティバスやタクシーの安い料金での利用、小児科の専門病院の建設など、手当の充実などが増えたら良いかと思います。

・低廉な住居の提供。

・駅までの交通網の整備。

・高額な北総線の運賃の改定。

・電車代の削減。

・補助金サポート。

・白井高校の進学実績の向上。

・北総線の更なる値下げ。

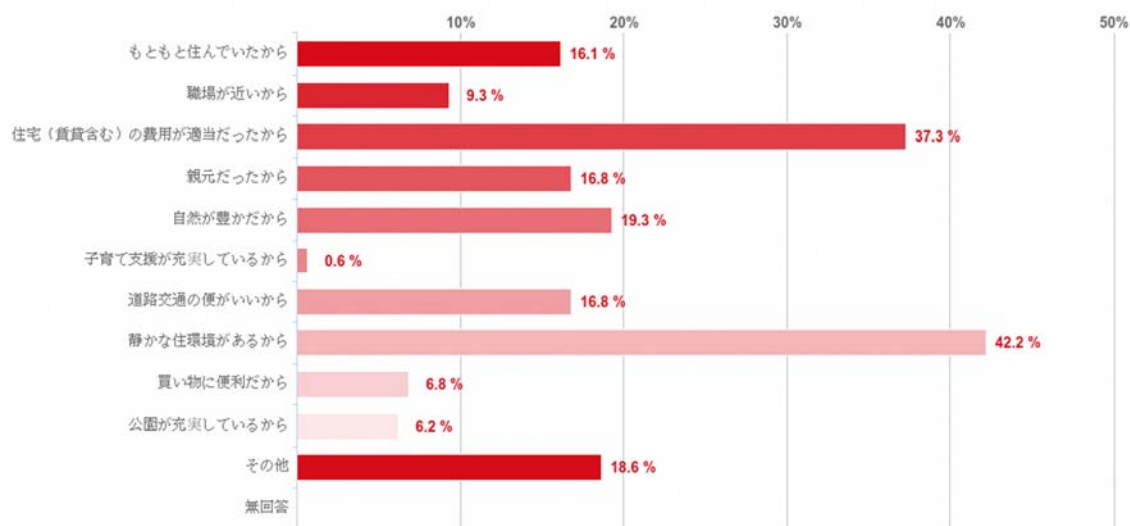
・西白井駅に引っ越してきましたが、駅前に素敵な飲食店もなく、引っ越したくなりました。モスバーガー、銀だこ、くりこ庵、ジョナサン、ラーメン屋さん、星野コーヒーそれさえもなく、つまらない駅前で悲しくなります。

・働きながら子育てできる施設の十分な確保。

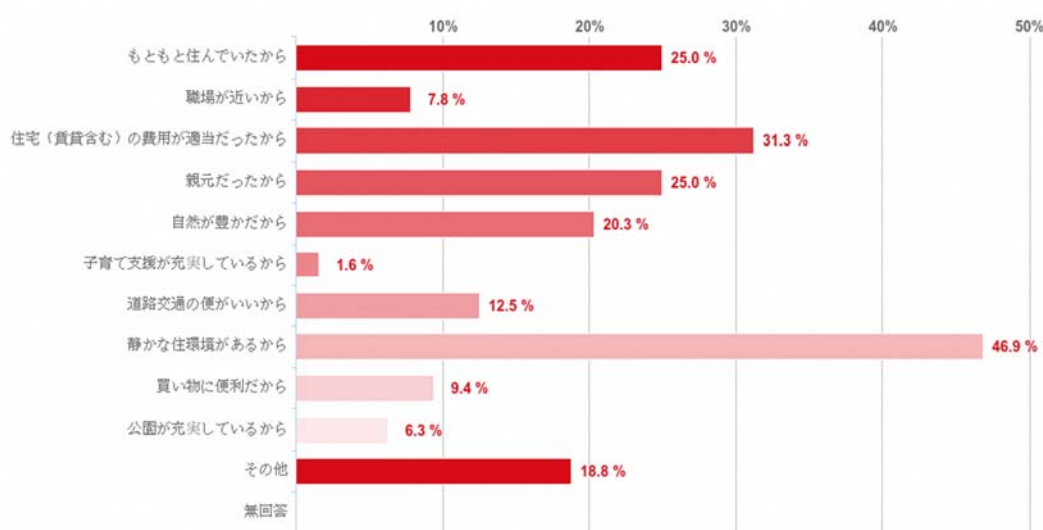
・夜間救急で常に対応してくれる小児科または、保健福祉センターがある事。

Q4 あなたが白井市を住まいとして選んだ決め手を教えて下さい。

【全体】 n=161



【若い世代回答】 n=64



【その他】 30 件

- ・新築マンションの価格が他地域と比べて安かったから。
- ・近代都市？ながら少し歩けば里山がある。
- ・整備された住宅地で好みの住宅が見つかったから。
- ・通学路が安全だから。
- ・実家が近いから。
- ・歓楽街が無いから。
- ・たまたま通りかかった住宅販売。
- ・住宅が安かった(都内への通勤圏の中で)。
- ・利便性。
- ・駅が目の前。
- ・住宅を建てた土地が平らで地盤も強かったため。夫の実家が近い。
- ・義実家があるから。
- ・土地が安かったから。
- ・住宅の利子補給があったから。
- ・土地が安い。
- ・通勤電車のルート。
- ・親元に近い。
- ・公団の土地購入。
- ・沿線に空港があるため。
- ・ハザードマップで安全そうだったから。
- ・たまたま娘夫婦が住んでいて、遊びに来ていたから、買い物も不便なく、とにかく静かで、広い、子育て終わった世代がゆっくり暮らせると言う感じが強い。

- ・乗り入れ鉄道の利便性。
- ・結婚相手がそこに住んでいたの。
- ・千葉ニュータウン地域の安定した地盤と水害リスクが低い環境と小学校、中学校が近かったから。
- ・歩道が広くて子供が自動車事故に遭うリスクが少ないから。
- ・道路幅が広いから。

Q5 あなたは、白井市若い世代定住促進支援金制度について、知っていますか。

【全体】 n=161



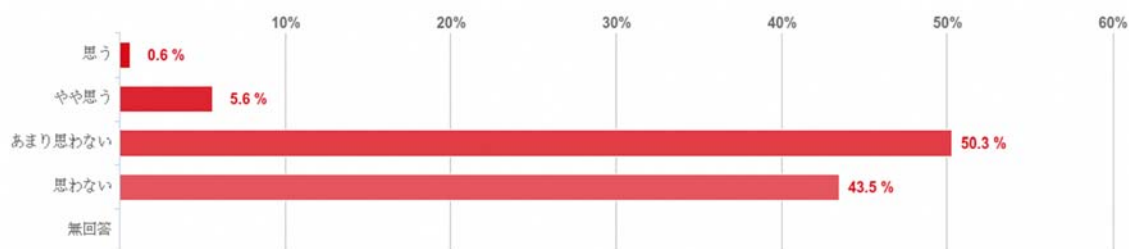
【若い世代回答】 n=64



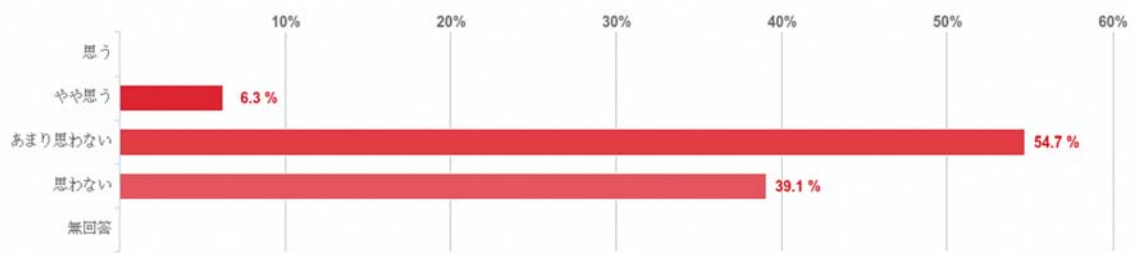
次に、白井市の働く場についておたずねします。

Q6 あなたは、白井市内に働く場が充実していると思いますか。

【全体】 n=161

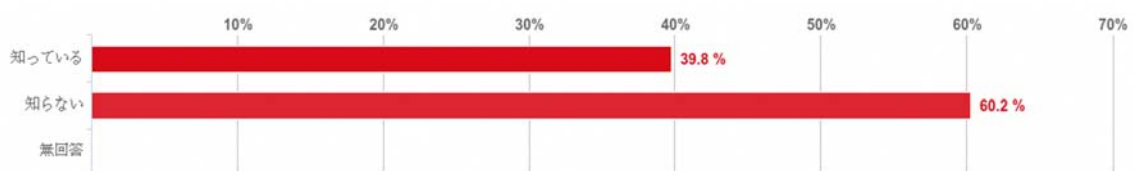


【若い世代回答】 n=64

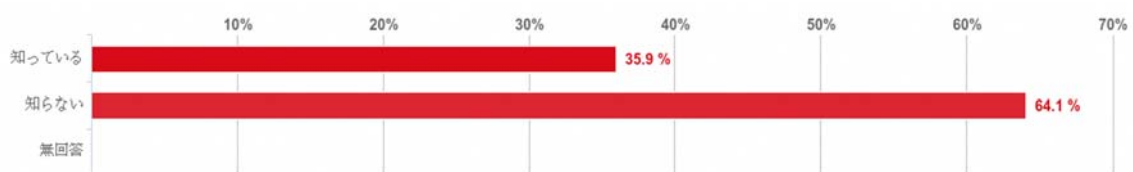


Q7 あなたは、市役所内に無料で職業紹介を行う無料職業紹介所があることを知っていますか。

【全体】 n=161

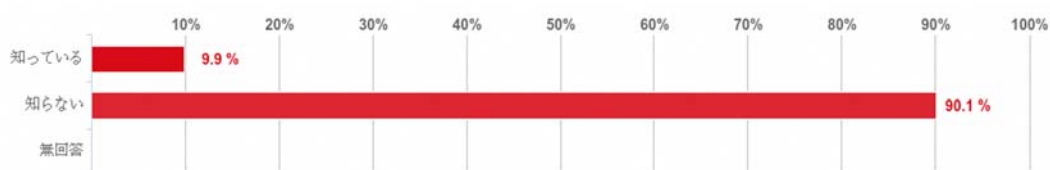


【若い世代回答】 n=64

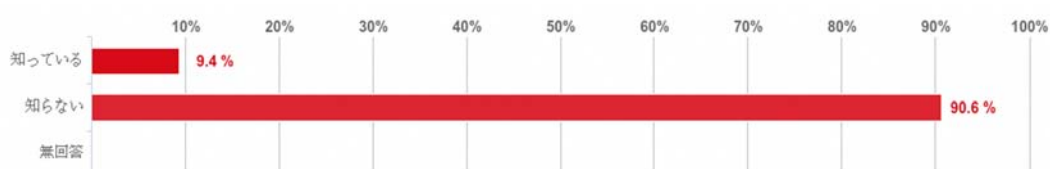


Q8 あなたには、お仕事を探している人向けに市内の会社が市役所等で職場や仕事の説明をする「白井市出張会社説明制度」があることを知っていますか。

【全体】 n=161



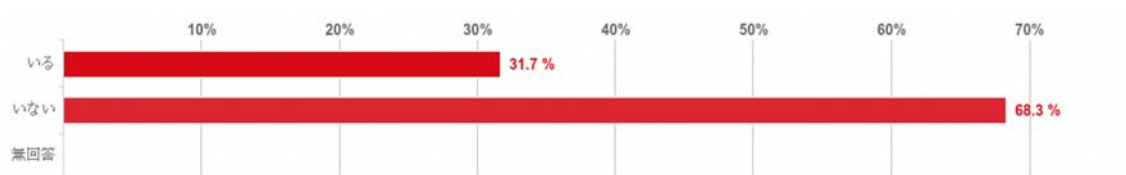
【若い世代回答】 n = 64



最後に、子育て環境についておたずねします。

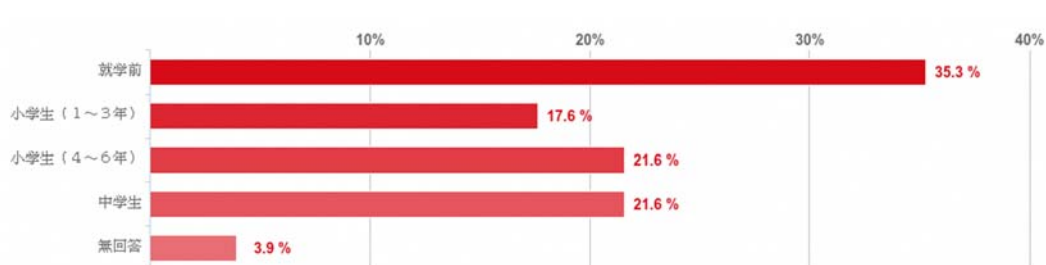
Q9 あなたには、0歳から中学3年生（15歳）までのお子さんがいますか。

【全体】 n=161



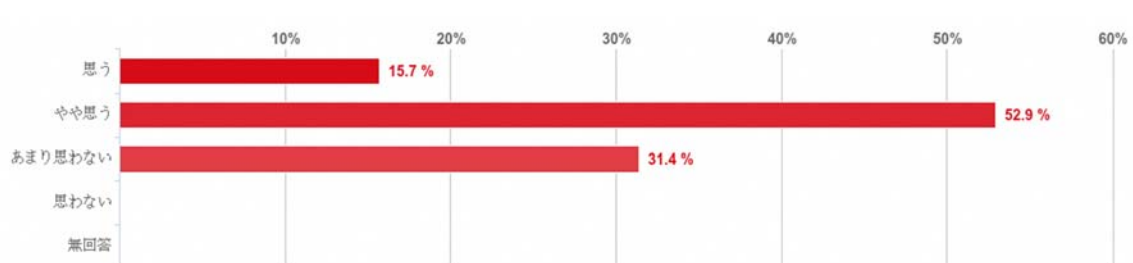
Q10 一番下のお子様の年齢を選択してください。

【全体】 n=51



Q11 あなたは、白井市は子育てしやすいまちであると思いますか。

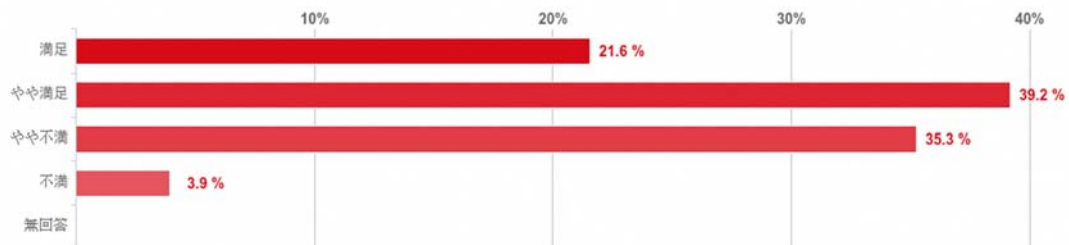
【全体】 n=51



Q12 次に、白井市の保育サービスにおたずねします。白井市では、保育所の誘致や、病児・病後児保育の実施など、保育サービスの充実に取り組んでいます。

あなたは、白井市の保育サービスに満足していますか。

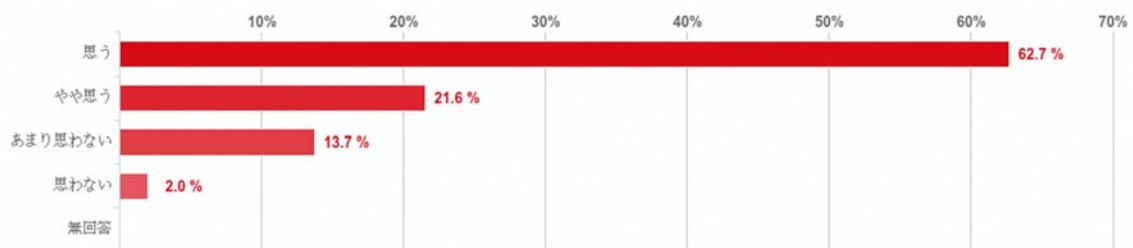
【全体】 n = 51



Q13 次に、子育てに係る経済的負担についておたずねします。白井市では、子どもにかかる医療費を助成し、子育ての経済的負担の軽減に取り組んでいます。

あなたは、この制度により子育ての経済的負担が軽減されていると思いますか。

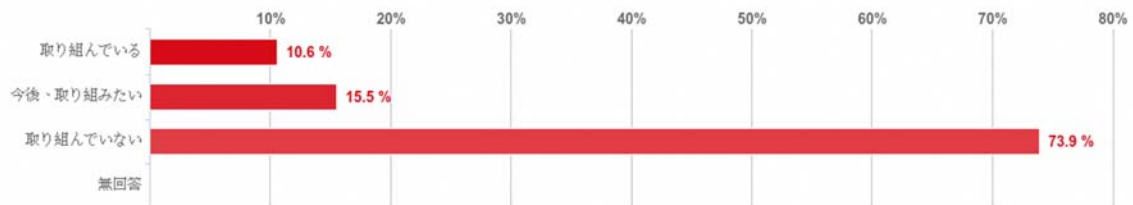
【全体】 n = 51



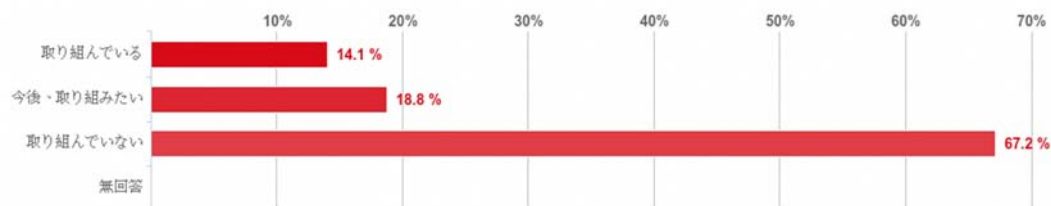
Q14 次に、地域ぐるみの子育て支援についておたずねします。白井市では、地域ぐるみでの親子の居場所づくりや子育て支援に取り組んでいます。

あなたは、お住まいの地域で子育てを支援する活動に取り組んでいますか。

【全体】 n = 161

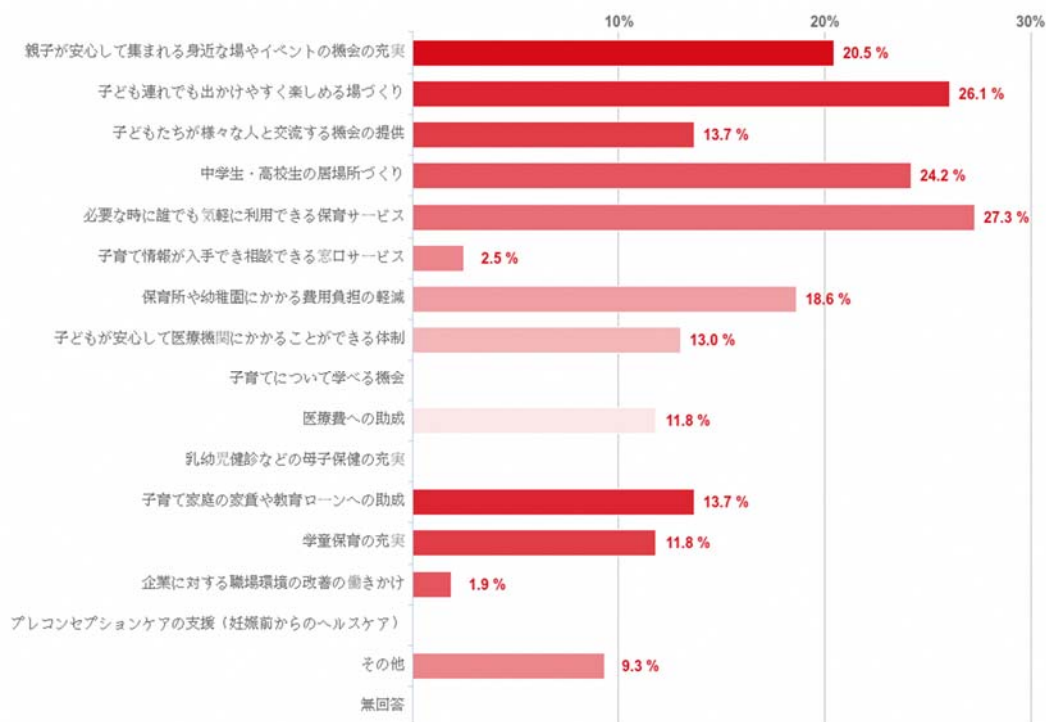


【若い世代回答】 n = 64

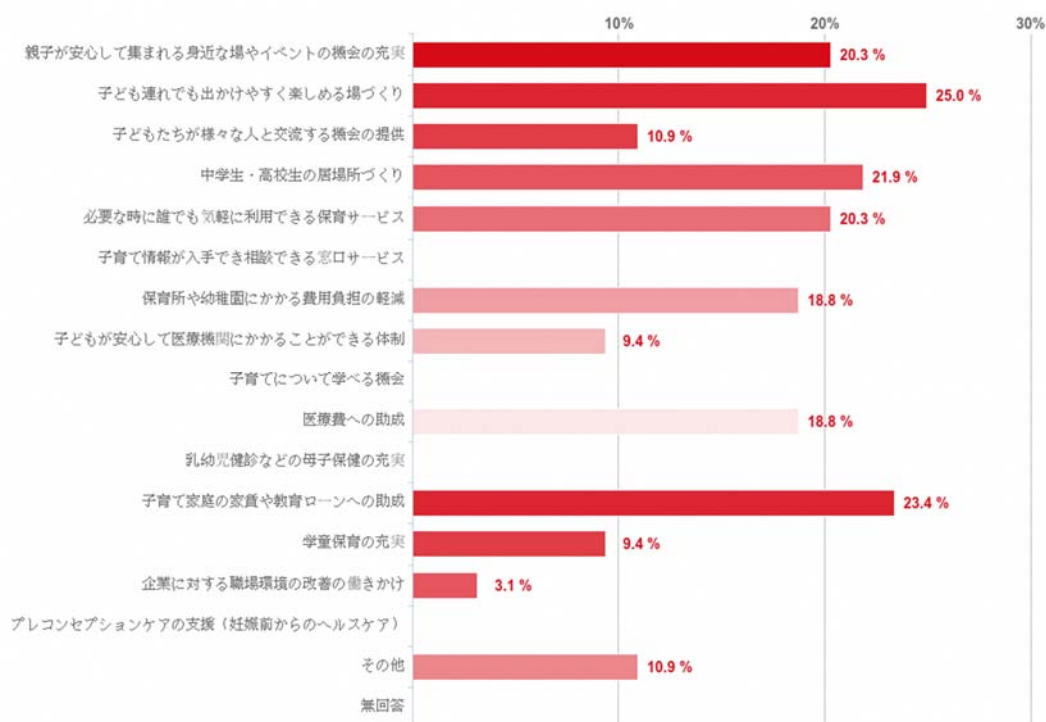


Q15 あなたは、子育て支援策として、今後どのような取組が重要と考えますか。次の中から2つまで選択してください。

【全体】 n = 161



【若い世代回答】 n = 64



【その他】 15件

- ・現状でも十分満足してますがさらに良くするために兵庫県明石市の取り組みで真似できる箇所を全て真似して欲しいです。
- ・各医療機関の特徴や強みを白井市からもっと提供してほしい。
- ・子供を連れて出掛けられるショッピングモールの招致。
- ・病児保育の受け入れ。
- ・地域住民での学校への支援。
- ・現行制度で支援できない子供たちへの確実な支援。
- ・小学校高学年の長期休み居場所づくり。
- ・道路整備。
- ・わからん。
- ・事故・犯罪の少ない街。
- ・乳幼児や多胎児、障がい児育児で、家に閉じこもりがちならざるを得ない家庭への、訪問しての支援。
- ・富士センター体育館の利用料が高くなり、高校1年生の息子は個人や友人とバドミントンの練習が思うように出来なくなりました。テニスコートや球場はお手頃価格と聞き驚きました。学生が利用しやすい価格帯を設定してほしい。
- ・待遇の良い企業や職場の誘致。
- ・給食費の完全無償化。
- ・北総線の更なる値下げ。

16 白井市の若い世代の移住・定住策に対してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

【公共交通関連】

- ・車を持たない人は白井市には住めないと実感しています。若い世代の車離れが進む中、かなり深刻な問題かと思います。バスの本数は少なすぎて使えません。巡回バスはルートが長すぎて同じ場所をぐるぐる回っているようで時間がかかり、イライラします。平坦な土地が多く、広い家を安く買えるのはとても良いことだと思います。
- ・若い世代は免許なども経済的負担となるため、バスやシェアサイクルなどの充実を図らないとどんどん過疎化していく。
- ・高学生までは白井市に住んでいても、大学生、社会人になると引っ越してしまう人が多い。若い人の意見では北総線の本数が少ないので、不便という意見を多く耳にする。実際自分の子供もそう言っている。都心までのアクセスがもっと良くなれば子育てには良い環境だと思うので残念。
- ・東京に近いけど、交通費が高いため、一人暮らしになっているのでは？
- ・やっぱり、交通の便が良い方がいいかも。

・北総線の通学定期の大幅値下げは良いと思うが、そもそも駅へのバスなど交通機関が貧弱になってしまい、通学通勤や習い事の移動が困難であることが問題。

・電車代が最大のネックだと思う。

・北総線の運賃の更なる値下げが必要。新鎌ヶ谷乗り換えの東武線・京成線や東松戸乗り換えの武蔵野線の初乗り料金の低減など。

・駅までの通学や習い事などの公共交通機関の充実をして欲しい。

・白井で働くことは無理だから、東京に安心して働くことの出来る環境、特に北総線の運賃が問題解決。

・交通運賃の減額と補助費供与。

【誘致関連】

・しないでの就業機会を増やすために介護学校、介護施設の誘致やヤオパークの道の駅化などに取り組む事が大切。

・ショッピングモール、有名(魅力的?)な企業、老人医療特別病院等のユニークな施設を積極的に誘致するなど市中心で動かないと 今後、じり貧になるばかりと思います。

【教育・子育て支援・医療関連】

・現在の自然豊かで住み良い街を残しつつ、それに惹かれて子育てをしたい層をさらに取り込む施策として、空き家や住居の提供、子育て世代の負担が減る取り組みを推進して更に人口が増える街になると確信しています。

・自分達が子育てしている時にこういう活動があれば良かったと改めて思います。娘は他の土地で共働き、子育てに綱渡りの暮らしをしていますので、学童保育の充実、医療機関にかかりやすくするなどの支援は必要だと思います。

・現在孫が乳児で帰省した際に感じるのですが、母子が体調を崩した、妊娠した等の時に市内に気軽に相談、受診できるサービス、医療体制がない不安を感じています。若い世代、母子に刺さるサービスを、医療や保育の連携、教育と塾・クラブの連携など発想し、なるべく個人の助成金の多寡で比較にならない様考えるべきかと。市の財政に都市間の差があるのは避けられない。

・子育て支援が不足している。

・近隣の地域では子どもの医療費負担が0円だったり、保育料が第一子、第二子が卒園しても第二子半額、第三子無料になっているので準じて欲しいと思います。

・保育園への援助、入学時のランドセル補助、給食費の無料化等積極的な援助が必要だと思います。

・以前住んでいた所では子供の薬代に加えて、受診料も無料でした。白井市に来てまず受診料を 300 ですがお支払いする事に驚きました。助成していただいている事はとても有り難いですし、財政の問題かとは思いますが、特に小さなお子様をお持ちの御家庭に関して、病院

にかかる際の金銭面は全面的に補助してあげたらとても助かるかと思います。

【住環境・まちづくり】

・県外出身者です。縁あって市内の戸建て賃貸に住み、駅前にゲームセンターやパチンコなどの治安を悪化させる建物がない・通学路が安全・中古戸建てが出たため、定住を決めました。40年前に開発された街のため、駅前が高齢者ばかり、全体的にダサイ、家を建てる場所がないのが、「定住」前の課題だと思います。（どうしてもお金と勢いがある印西の方が魅力的に見えるので）ただ、コンパクトシティで人と人との距離が近いのが白井の本当に良いところなので、若い世代がコミュニティに参加したり、子育て世代を孤独にしない（知り合いを作りたくなる）施策をよろしくお願いします。個人的な希望としては、一番駅近のURをまるまる1棟リノベーションし、「子育て世帯専門」の賃貸or分譲にしてほしいと思います。（子どもが泣いても騒いでも気兼ねせず住める団地）

・道が広く大きな幹線道路へもすぐ出れる地域に新しい街を開発してほしい。

・大学生がいないと街が盛り上がらないので、大学生向けの住宅を整備するとか、可能であれば教育機関を誘致するなど、まずは住んでもらうための街づくりが必要かと思います。

・市役所の職員から聞いた情報が、我々一般市民がネット検索した情報と対して変わらない。もっと市として多くの情報を保有、提供してほしい。産院や婦人系医療機関を誘致、定着させないと結婚から出産、子育てと結びついていかない。子育て支援と同時に「白井市で安心して子どもを産める」という環境を整えてほしい。

・歩いていても高齢者の割合が多く、子供連れを見かけることが少ないです。若い世代の方と話をしても、大学や就職を境に、都内や千葉県内でもっと都会の便利なところに引越してしまうので、人口も増えません。都内の住居費が高騰している今、他の首都圏で実施している、空いている団地をリノベーションし、格安で若い世代に賃貸するなどの取組を行って欲しいです。人口が増えれば商業施設も増えると思いますし、若い世代が増えれば街にも活気が出て、雰囲気も良くなり、若い世代が移住、定住しやすくなると思います。

・ファミリー層にとっては比較的安価な住宅が多いと思いますが、独身者や夫婦だけの世帯にとっては、適当な住宅が少ないように思います。自分が独身や結婚直後だったときに、白井市への居住は考えなかったと思います。これらの世帯が結婚をして子どもを持つようになるまでの長い目で見たまちづくりが必要何ではないかと思います。

・マンションが足りないのでは？

・基本インフラの整備。簡単ではないが、ボロボロの路面が多すぎます。

・白井市は東京に近接しているながら、閑静な住環境で学校・幼稚園、公園、医療施設等も多く、若い世代も住みやすいと思います。

・土地が広いのでのびのびとした家づくりができと思うし、普段の買い物には、お店がたくさんあるので困らないと思います。ただ、車が運転できないとバスの本数が少ないので、そこが不便と感じます。

・白井市は自然環境は恵まれています。が、若い世代が住み続けたいと思う魅力がまだまだ足りないと思います。

・家賃を安く提供する。

【商業施設関連】

・西白井に住んでいます。駅前が昭和のまま止まっていて寂れすぎなので、商業施設を誘致するなどして賑わせて欲しい。数年前もお願いしましたが、全く変わってません。これでは若者は住みたいと思わないですよ。

・飲食店の誘致のための助成金を出して印西市にある thegreen のような施設を作るか東京の谷中千住のような古民家リノベーションカフェをたくさん作らない限り他県の若者が白井市に興味を抱く/街に来ることは無いと思う。北総線ウマ娘のコラボイベントも悪くはなかったが一過性なものなので安定した集客には至らない、高頻度でコラボを実施するなど考える必要がある。

・若い人が好むようなショッピングモールなどの誘致が必要だと考えます。土地は余っていると思うので、ぜひ前向きに検討してください

・白井市に他の市からも遊びに来たくなるような場所やお店が必要だと思います。

・とにかく商業施設や文化施設が足りないと感じています。暮らしやすさに直結するので誘致を頑張っていただきたいです。

【駅周辺活性化】

・駅前の飲食店がなく最も利便性の高い一等地をケーズ電気が占有している。住民の利益のため、ファーストフード店やレストラン等飲食店の誘致を図って欲しい。

・白井駅周辺に中高生が集まって過ごせる場所があると良い。駅前に地域の人が集まったり、屋外イベントが気軽にできるように多用途な広場の区画を作ってほしい。

・土地や空き家はあるのに、放置されているのがもったいない。特に笹塚の駅近エリアで、更地になっている箇所は、商業施設や戸建て等に活用してほしい。

・駅前センターの高校生ルームを利用していない時に、誰でもが利用できるようにして欲しいです。昼間、孫をみている、おじいちゃん、おばあちゃん達が、孫と一緒に集まれる場所もほしいです。

・西白井駅や白井駅の駅前が賑わいがなく、若い世代にとっては寂しくつまらないと思います。若い人たちが仕事や学校からの帰り道、駅から出た時にふらっと立ち寄れるようなカフェ、居酒屋、書店、などがあればいいのと思います。

・白井市には大きい商業施設が無いので、広い土地を活かして誘致したり、雑木林をきれいな緑の場に整備したり、観光になる場所を思い切って作れたら（難しいですがひたちなか市の海浜公園のように）、印西牧の原や千葉ニューの様に若い世代が必ず増えると思う。

とにかく出かけられるところが少ない 食事したいにも駅の近くにも何もない。飲食店を増や

して、電車も 20 分に一本ではなくバスも含め増やしていく必要がある

・西白井駅に、カラオケ、飲食店など娯楽施設がほしいです。引っ越してきたことを後悔しています。

・共働きの子育て世帯を想定して住みやすい住環境を考えると、駅近くに幼稚園や保育所があり買い物ができるスーパーなどがあると良いと思います。

【公園】

・ニュータウン区域外の公園整備が乏しい、または整備に力が入っていないと感じる 旧市街や村落地区は子が減っており仕方ないのかもしれないが、長期的に空き地になっており活用されていない畑などを地主交渉の上で借り上げや買取で整備して公園化してくれると嬉しい 現状のような地域の特性を活かした遊び場が少ない状況だと、子育て世代の誘致は厳しいのでは。何を期待して移住させたいかの掘り下げが必要だと思います。

・公園が少ない

・いろいろな公園があると思うが、あまり 1〜3 才の子が遊べるような遊具のある公園がないと思う。広い公園に小さい子向けの場所があるとさらに遊びに来やすくなると思う。また、子どもに人気のあるスポーツができる場所や、アンデルセン公園・21 世紀の森の公園などのような広くて魅力的な遊具のある公園ができると、移住定住の前段階として人を誘致したり白井の知名度をあげることもできると思う。

【その他】

・成田空港にも都心にも乗り換え無しで行け交通便利な所なのに、これといった産業もショッピングモールもない 隣の印西市はデータセンターや物流センターや大規模ショッピングモールが沢山あって 若い世代にも魅力的だが、白井市は「お隣」的存在で魅力が全くない コミュニティバスも印西市は日祝運行なのに白井市は運行なし。

・財源確保の問題等、色々あると思いますが、隣接自治体の印西市並に支援等を充実させて頂きたい。コロナ禍では印西市は市内で使えるクーポン等を配布していたが白井市はなかった。

・私が今年 35 歳になるので若い世代かは微妙ですが、白井の魅力は静かで落ち着いた暮らしを送れることにあります。そのため、新たな誘致やイベントに限られた資源を使うのではなく、子育て世代への支援や補助金などへの資金投下が望ましいと考えます。また、予算上の都合はあるかと思いますが、ありきたりなものではなくドラスティックな支援を行うことで新規の移住や定住によりつながるのではないのでしょうか。

・都心からの交通費が以前高いですが、物価的には割安なので、リモートワークがある方にフォーカスして移住定住を提案してみてもいいでしょうか？

・プラネタリウム、文化会館、総合公園の充実した文化教育の町だとのイメージを宣伝すれば良い。

・●空き家がある(建て替えができないなどの制限で、そこに新しい住宅を建てる事が出来ず、そのままになっているのはすぐに取り壊すなどの対策をすすめるか、建て替えが可能なら区分にするかなどを検討する必要もあるかと思います。防犯の面からも、空き家への侵入、それによる火災や時間に発展しないようにするべき) ●車がないと生活できない(バスの本数が絶望的に少ない、特に朝は通勤通学に使いたいと思っても、時間が遅過ぎると思います。(白井駅は 7:00 だが、西白井駅は 7:30 着) 特に学生は 8:30 には始業になるとして、駅からバスで学校に行く場合、8:00 前後には学校近くの駅に到着しなければならないことを考えると、西白井駅に到着する時間は遅いかと思います) ●開通されていない道路があり、迂回しながら走らなければならない。細かいことですが、定住を望むのであれば通勤しやすい、子育てしやすい、老後のことも安心できる！までを一括で整えていかないといけないかなと思います。

・市の具体的な策の提供が見えない

・周辺地域への就労がないと、いずれ離れて言ってしまうと思います。

・終電の延長と特急を増やしてほしい

・白井市での実態はわからないのですが、ニュースや SNS を見ていると、共働きの子育て世帯や教員の負担が増しているのではないかと思います。PTA のような保護者に負担になる仕事や、学校敷地の草取りなど教員でなくてもできる仕事を地域の人でお手伝いできたら、地域の交流も生まれて良いのではないのでしょうか。継続できるように手伝ってくれる人にはインセンティブが必要ですし、気軽に参加できる工夫が必要かとは思いますが…。

・教育、住居、交通費の補助。

・小学校が学区の外れだと心配と大変(昔よりも荷物が重たい)が増えて親への負担も色々と増えている。高校も市内から行けるところが限られて少ないため倍率が高くなって遠くに行かざるを得ない。

・1.交通利便性の向上、2.子育て環境の充実、3.地域魅力の発信とプラン 成功事例:山形県東根市「農業と工業の融合」、新潟県粟島浦村「粟島しおかぜ留学」、福井県鯖江市「ゆるい移住プロジェクト」

・保険料 300 円を東京都や埼玉県のように負担ゼロに。幼稚園、保育園、学校の老朽化の改善。近隣の市に比べて目を引くものが少ないので、お金の面などわかりやすい手立てをお願いしたい。近隣の市より子供が少ないので、児童センターや公園などの遊び場、幼稚園、保育園、病院などは足りていて有難い。

・今はインターネットで何でも簡単に調べられる時代なので、共働きで忙しい世代は不便な場所には住みたがらないと思います。近くにコンビニもなく、子連れで行くような飲食店もない。内科と歯科以外に病院がなく、総合病院に行ってもない科もあれば限られた時しか医師がいない科が多い。コミュニティバスも本数が少なすぎて待ってられないし、電車も北総線しかなくこちらも本数少ない&運賃高くて不便。仕事は都内や周りの市にも沢山あるし、

テレワークもあるので、そこまで必要ないのでは？それより利便性が大事だと思います。
市立総合医療センターまで通っています。近くに選択肢がなかったのも困ったし、緊急時にこの交通網で間に合うのか不安でしかないです。タクシー助成も今はないようですね？また、産科だけではありませんが気軽に仕事抜けて行ける範囲に病院がなく、働くことの妨げになると思っています。私は運転もしないし平日は車も夫が通勤で使っていないので、本数少ないコミュニティバスやシャトルバスでは総合病院に行ったとしても半日がかりな上、行きたい曜日に医師がいないとか…なかなか通院もできません。はっきり言って、義実家がなければ絶対住まなかったと思います。

- ・若い世代の移住・定住推進策は、白井市の活性化・税収確保のために重要。北総台地の堅い地盤が具体的な数値でアピールできるのであればやるべきだし、定住対策として子育てしやすい環境整備とその訴求を継続的に進めるべきと考える。

- ・周辺自治体と比べても特色が無く、白井市に注目が無い。すべてにおいて特色を持つことは難しいが何か一つでも他自治体を凌駕する施策が必要。

- ・地域によっては小学校低学年、高学年の学童が分離されてたりして、高学年の居場所があります。白井市は無いため、暑くても思い切り遊べる場所を作って欲しいです。体育館に冷房を入れて夏休みに解放してもらいたいです。費用は負担します

- ・元々人を呼び込む整備をしてほしい！

- ・市内の公共交通機関のルート上に「地元」を感じる場所や店等がない。あるのは解体屋やデータセンター予定地など地元への貢献がほとんど無いものばかり。

- ・分譲マンションに入る方が多いとすれば、将来固定資産税の負担を重く感じるようになるでしょうから、課税自主権をつかってその軽減をうたい、市の独自性をアピール！

- ・若い世代の移住・定住を促すには、「住みやすさ」と「働きやすさ」の両立が重要だと考えます。自然が身近で子育て環境が整っている一方で、通勤・通学や日常の移動手段が限られていたり、地域内での働く場が少ない点がハードルになっているように思います。リモートワークの拠点となるコワーキングスペースや、地元の事業者と若者がつながれる副業・起業支援制度など、都市と地方をつなぐ「柔軟な働き方」を支える仕組みを充実させることが、若い世代にとって魅力的な定住策につながるのではないのでしょうか。また、空き家や空き店舗を活用した住まいと仕事のセット提案（住居＋店舗や工房など）も、地域に根づく若者のチャレンジを後押しする有効な方法だと思います。

- ・近くに良い給料で働ける企業が少ないのがネックだと思います。

- ・各年齢層にお得を感じサービスを。SNS など配信媒体が増えている時代なので、今住んでいる方が満足すると自然と広まっていくと思います。・喜寿、米寿のお祝いプレゼント ・学生層の施設料金設定 ・医療費、薬の無料化 活動している団体などへの支援も必要と思われませんが、個人が直接受けるサービスがあると良いと思いました。

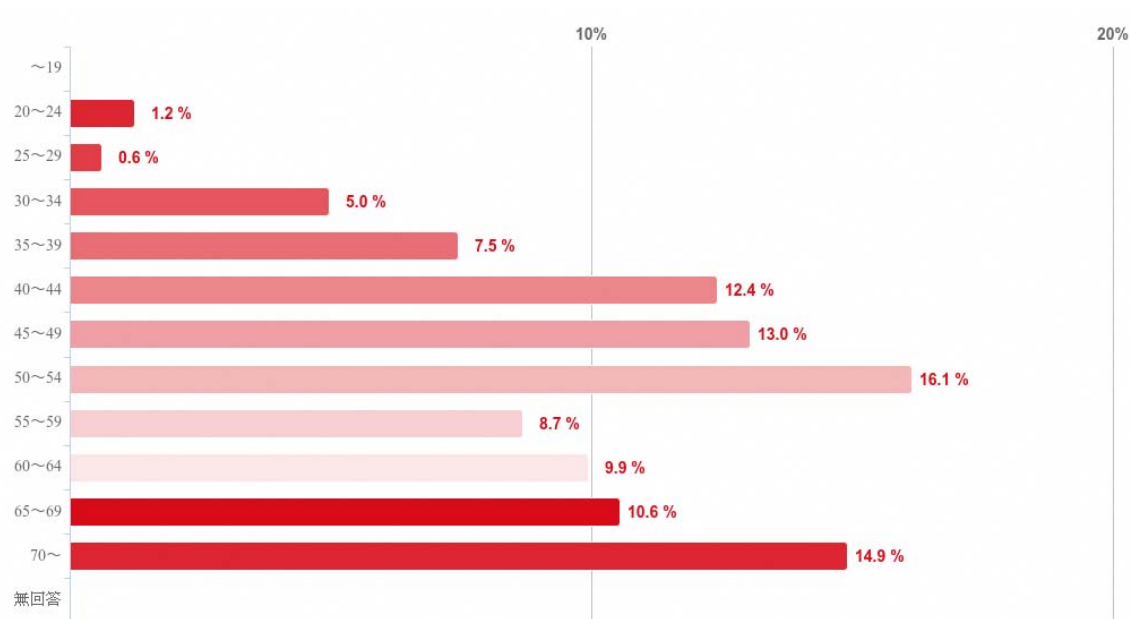
- ・とくにないです

- ・定住支援のお金を給付してもムダだと思います。高校大学を増やす、働く場を増やす。

交通の利便性をよくする、これがないと、若年層流入は望めないと思います。うちの子も、「白井は不便で、店舗もどんどんなくなる。」と他市へ行きました。

・職場の拡大が必要。

【年齢】



【性別】

